

日時：2024 年 2 月 9 日（金）14：00～14：30

会議方法：オンライン

出席者（※敬称略・五十音順）：

[本会雑誌編集委員会 編集委員長]藤田道郎（日本獣医生命科学大学）

[本会雑誌編集委員会 編集委員]

皆上大吾（東京農工大学）、賀川由美子（病理組織検査ノースラボ）、

鈴木 学（株式会社サップス）、瀬戸口明日香（JASUMINE どうぶつ総合医療センター）、

高木 哲（麻布大学）、高橋 雅（鹿児島大学）、中川貴之（東京大学）、中山智宏（日本大学）

1. 審議事項

以下（1）～（4）が審議され、承認された。

（1） 「短報（NOTE）」の項目わけについて：

項目わけをする内容の「短報（NOTE）」なら、原著論文として投稿するべきである。

短報として投稿するなら投稿規程 7 を遵守して項目分けは行わず、改行等を行って項目分けに準じた体裁とするのが良い。

（2）審査結果についてリジェクトが増加傾向にあることへの対応について：

メイン査読者は、教育・指導的観点から査読し、可能な限り掲載できるように努める。

具体的には「修正後再審査可」という審査結果を設定し、審査結果には助言も加える。

そして「修正後再審査可」の審査結果の場合、投稿者は 6 ヶ月以内に修正原稿を提出することとする。また、その場合の査読についてはメイン査読者が選出する 2 名の査読者への負担を考え、2 名の内 1 名はメイン査読者が兼務することとなった。

（3）その他：

（ア）アワードの設定について：

日本獣医がん学会雑誌にて掲載論文の中からアワードとして（「最優秀論文賞（仮称）」、「優秀論文賞（仮称）」）を 2 年に 1 回実施することを理事会へ提案することとなった。

（イ）病理分野の査読者の増員について：

病理分野の論文に対応できる査読者を 2～3 名増員することとなった。

本会雑誌編集委員・メイン査読者の賀川先生・鈴木先生（※五十音順）の推薦者を、2024 年 5 月 1 日～新たな査読者として査読者名簿に追記することとなった。

（ウ）編集委員・メイン査読者の増員について：

現在の編集委員・メイン査読者 12 名のままで変更の必要はないことが確認された。

2. 報告事項

以下 (1) ～ (3) が報告された。

(1) 2023 年中の発行状況について：

Vol. 12No. 1、No. 2 を発行

(2) 現在の投稿論文の進捗状況について：※2024 年 2 月 5 日時点

原著 1 本 (審査中)

短報 11 本 (審査中)

※短報 2 本 (リジェクト後再投稿)

Vol. 13 No. 1 早期公開、準備中

(3) その他

令和 6 年能登半島地震にて被災された投稿者へは、査読期間等について、可能な限り柔軟に対応する

以上。

(文責者；藤田道郎)